

主任コラム4月号

主任 澤井 良子

ご入園、ご進級おめでとうございます。1歳児6名、2歳児1名、4歳児2名の新しいお友だちを迎え、116名で令和6年度がスタートしました。

新しいクラスになり子ども達の表情は、進級した喜びや、緊張や不安そうにしている子もありますが、担任の保育士を安心基地に温かく受け止めてもらうなかで信頼関係を作っています。

ながさわ保育園での保育環境は、0・1歳児は生年月日に分けることなく、この時期の子どもの発達の違いや個人差も大きいいため同じ空間の中で生活しています。2歳児の時期は、仲間とみんなで一緒にいることや、やることの楽しさをじっくり味わうこと（同僚性）、一方で、「待つ」「順番を守る」「我慢する」などの人と関わる力の基礎が育つように単独のクラスになっています。3・4・5歳児クラスではそれぞれがしたいと思うことがその時に実現できるようなゾーンを用意し、自由に選択できるような環境にしています。そして、何かをやらされてやるのではなく、自らがやりたいと思い行動ができる環境、またそれぞれの思いを口にできる子ども関係や大人関係となるように関わっていき、大きくなって社会にでた時に自分の力で判断し、考え、行動できるような大人となれるように、この保育園生活の中で育んでいきたいと思っています。

3月25日から新クラスでスタートしていますが、りす組では保育士に抱かれ安心する中で、周りの子の遊ぶ姿をみてから遊びに入っている姿があります。うさぎ組では、自分で好きなゾーン選んで遊ぶ姿や、こあら、くま、らいおん組の幼児クラスでは、くま組、らいおん組の子が小さい子を遊びに誘ったり、お部屋でのルールを教える姿があります。そして、らいおん組の子は憧れていたお手伝いを進んでする姿がみられます。幼児クラスには、ピーステーブル（喧嘩や、思いがぶつかった時に子ども同士が対面で話す場所です）があるのですが、ここに来て座って話し合う場面を最近よく見かけるようになりました。話を傍で聞いていると、「なんで〇〇してきたん？いややったんやけど』『だって、こうしたほうがよかったと思ったから』とお互いに自分の思いを伝えています。子ども同士の喧嘩は年齢や発達によって異なりますが、幼児クラスでは、保育士が話を聞いて判断するだけでなく、子ども同士が対話をして時にはぶつかり合いながらも相手の思いに気づき、また気持ちの折り合いをつけて解決していく力をつけていくことも必要です。今は何でもICT化していますが、人の気持ち（感受性）というのは、人と人とでしか分かりません。この幼児期にたくさん子ども社会の中で経験して行って欲しいと思っています。

そして、ながさわ保育園の保育理念や保育方針、保育園目標にもあります【大人も子どももみんなが集える、心安らぐ「地域のオアシス」となる】です。職員一同、保護者の方と一緒に子育てしていきたいと思っていますので宜しくお願い致します。

新しいクラスの様子

